



画像提供：福島県いわき建設事務所

1月30日(火)、まちづくりステーション小名浜において、1月全体会議が開催されました。今回は3名の講師をお招きし、「小名浜道路の進捗状況」などのお話を頂きました。

1月全体会議

小名浜道路完成へ!!

長木下秀幸氏からは小名浜道路と小名浜港についての講話を頂きました。

現在小名浜港と常磐道を結ぶ小名浜道路の建設が進められていますが、第2期復興創生期間が終了する令和7年度までに小名浜道路が開通する見通しが立ったということでした。

開通時期につきまして、県は今まで2020年代初頭ということでしたが現在8割の区間で工事が完了しており、開通時期が見通せたとのことです。

小名浜道路はいわき市泉町から山田町を結ぶ全長8.3キロの自動車専用道路で開通によって小名浜港から(仮)いわき小名浜ICまで13分という所要時間で現在の約半分に短縮されるものです。またこの道路の開通により物流の円滑化や県外からの観光客のアクセスの良さ、いわき地域の特産品の輸送時間短縮による常磐もののブランドとしての価値向上、さらに災害時に緊急輸送機能の強化にもなります。



発行所 小名浜まちづくり市民会議 TEL: 52-1275 発行日 令和6年2月20日



▲左から木下所長・吉田所長・鈴木県議

また、小名浜港もコンテナターミナル機能の強化に取り組んでおり荷役の効率化を図っています。そして、これからの小名浜港の在り方として水素受け入れ環境の整備、港湾オペレーションの脱炭素化などの未来の姿を描いております。

参加した会員は、小名浜道路の完成で県外に行くとき非常に便利になる実感を持つことができました。小名浜住民の長年の夢がかないます。

中之作つるし雛まつり

1月27日から2月4日まで、「第20回中之作つるし雛まつり」が開催されました。

つるし雛には、ひとつひとつに異なる意味があり、小さな人形や野菜や果物、季節の花や縁起物など、子どもの健やかな成長や無病息災、衣食住に困らないようにと願いを込めて作られています。



また、近隣のお宅の軒先にも飾られており、雛たちが風に揺れて

海神ネプチューン大学2023

1月13日(土)、海神ネプチューン大学2023後期第3回が開催されました。市内の親子7組20名・いわき秀英学園学生・ボランティアスタッフが岩間海岸で清掃活動を行いました。

今年度最後のごみ拾いは、非常に多くの漂着ごみがありました。ペットボトル等は砂をかぶり、半分埋もれている状態で、拾うのになかなか苦戦をしました。その後、イオンモールいわき小名浜の4階イオンホールに移動し、アクアマリンふくしま職員岩田雅光さんの



講義「プラスチックに苦しめられる海の生きもの〜フロリダの話〜」では、海草と間違えてプラスチックごみを食べている、フロリダのマナティの生態を学びました。子どもたちは、これまで学んだことを振り返り卒業レポートを書きました。卒業終了後、子どもたちには卒業メダルが授与され、満面の笑顔を見ることが出来ました。未来に向かって、これからの子どもたちにはごみ拾いを通じ常磐ものが獲れる海を守っていくことを期待したいです。

1月31日(水)、いわき市文化センターで「いわき市まちづくり・未来づくり講演会」が開催されました。これは、いわき市や福島県からの支援を受けて実施したまちづくり市民活動の事例報告会です。アクアマリンパークファウンデーションで実施している海洋プラごみ啓発活動「海神ネプチューン大学」を含め4例が報告されました。約60名の関係者やまちづくり活動に興味

いわき市まちづくり・未来づくり講演会



画像提供：福島県小名浜港湾建設事務所



新設されたガントリークレーン 埠頭もレールも延伸された講演会の様子

を持つ市民が参加し、報告会のあとの交流会では多くの方で情報交換を行いました。お互いに協力をする事で、さらなるまちづくりへの繋がっていくのだからという期待が高まる講演会でした。



これからは梅や桜の開花の便りがあちこちで聴かれま

す。小名浜測候所での桜の開花宣言は今年はいつでしょう。今年はいつですか？今から心待ちにしています。

今年もまた花粉症の季節がやってきました。国内での花粉症人口は、およそ3000万人、4人に1人がかかっているという国民病です。花粉症歴40年の私は、

13年前の震災を体験した人は、当時を思い出し、共感し、被災地の人たちへ様々な感情を抱いたことだろう。思い出すということ

3・11を思い出す

令和6年が始まった数時間後、予想もしない出来事があった。テレビで状況に見入ってしまう。今、能登はどうなっているのか。情報はなかなか入らない。現場の混乱が伺える。

W・T

H・S

小名浜港を知ろう

福島県小名浜港湾建設事務所では、小名浜港大剣埠頭に大型荷役機械「ガントリークレーン」1基を新たに設置しました。ガントリークレーンは全高約82メートル、総重量約740トン、最大荷重49・8トンで、1時間に約40個のコンテナを取り扱うことが出来ます。今回は、大分県からクレーン運搬船で海上輸送

春はせむし

令和6年が始まった数時間後、予想もしない出来事があった。テレビで状況に見入ってしまう。今、能登はどうなっているのか。情報はなかなか入らない。現場の混乱が伺える。

マイメイドのささやき

最近の昭和レトロブーム。都内では、レトロ銭湯が流行っているみたい。

私も若い頃(年齢バレル...)当時住んでいた近所の銭湯に毎日通っていた。お風呂あがり、コーヒー牛乳片手に、番台のお爺さんと話をするのが楽しく楽しかったなあ。

よきよき

H・S 笑

「市民サービス機関の集約」に関するアンケート調査 Vol.1

小名浜まちづくり市民会議では上記アンケート調査を行なっております。下記QRコードからアクセスしていただき設問に回答して頂きます。(5分程度で終了)是非ご協力ください!!



小名浜まちづくり市民会議とは...

小名浜に住む人、小名浜を心から愛する人、小名浜を輝かせたいと思っている人々が集まり、関係機関・団体と協働で小名浜のまちづくりを進めている団体です。

人力戦艦!? 汐風澤風 YOUTUBE 配信はこちらから

会員募集

小名浜まちづくり市民会議では随時、会員募集しています。学生さんも、働くお父さんも、子育てに励むお母さんも、年齢は問いません。皆さんも一緒に素敵な未来の小名浜を創りませんか?

年会費 個人会員：3000円 企業会員：30,000円 団体会員：12,000円

お問い合わせ・お申し込み：いわき市小名浜字本町 11-1 (まちづくりステーション小名浜) TEL：52-1275 FAX：52-1415 http://www.onahama.jp/ E-mail：info@onahama.jp



©小名浜まちづくり市民会議/福島ガイナックス